

青春読書記

～三田学園図書委員会より愛をこめて～

前は掲載ができず、本当にすみませんでした。今回のテーマは「春」です！

「君の臍臓を食べたい」

住野よる：著 双葉社 2015年刊

この衝撃的なタイトルにひかれた方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。私もその一人です。この本の内容をざっくりまとめると「桜良と[地味なクラスメイト]君が繰り広げる非日常な日常」といったところでしょうか。物語は「地味なクラスメイト」君の視点で描かれており、桜良の言動に違和感を感じることもありますが、ラストで全ての謎が解けます。私はタイトルの意味がわかったとき、本当に涙が止まりませんでした。この言葉を通して伝えなかった事とは一体何だったのでしょか。

「恋愛」や「友情」という言葉だけでは表せない、二人の激しくもどこか穏やかな関係に浸ってみてはいかがでしょうか。



F/スミ

ホンダラケは皆様の投稿をお待ちしております。YAコーナーに用紙・ポストがございますので、おすすめ本や本誌の感想・要望などお寄せ下さい。

新着本Pick Up

10年後、君に仕事はあるのか？

藤原和博 ダイヤモンド社 2017年刊



159.7/17

こ、心に刺さるタイトルですね……。しかし10代半ばの君たちが持つであろう、漠然とした『将来への不安』にズバッと答えてくれる一冊です。よくある「働くってどういうこと？」という本とは違い、社会の仕組みや経済の仕組みを具体的に説明しながら「就職する」ことに切り込んでいく内容。お仕事本というよりビジネス書と呼んだほうがしっくりくるかも？ でも、こんな本を求めている高校生、きっといると思います。

YA新着本

請求記号	タイトル	作者名
913.7/かネ	真景累ヶ淵	金原 瑞人
Fカタ	猫伯爵の憂鬱	かたやま 和華
Fハツ	ひとり吹奏楽部	初野 晴
Fモリ	物理的に孤立している俺の高校生活	森田 季節

リサイクル予備軍 ALMA 電波望遠鏡

石黒正人：著 筑摩書房 2009年刊 442.3/09



このコーナーで紹介する本を選ぶため、リストを抽出したところ、この5年借りられていないばかりか、貸出回数がわずか2回という可哀想すぎるこの本を発見しました！さて「ALMA 電波望遠鏡」とは何か？宇宙からの電波をとらえるのが電波望遠鏡なのですが、ALMA はパラボラアンテナを何十台も設置して、一般的な電波望遠鏡よりハイスペックな能力で宇宙の電波をとらえることができるのです。現在はすでに運用されているALMAですが、本書はALMA 建設プロジェクト段階のお話。表紙を飾るちまちましたALMAがカワイイですが、中身はガッツリ宇宙の不思議と謎が詰まったサイエンス。さて貸出2回の汚点を返上できるか？

執筆者の腕がひたすらに試される 名作本コラム『老人と海』ヘミングウェイ

小川高義：訳 光文社 2014年刊

老人は一人で小舟に乗ってメキシコ湾流へ漁に出る。

ページから潮の香りがしそうな名作です。同じ海でもリゾートの海とは全く違う、野性味あふれる漁師たちの海。老漁師・サンチャゴは、84日間一匹も魚が釣れないという不漁のまっただなかにいた。今は運が悪いだけ、と自分に言い聞かせて今日も小舟で海へ出たサンチャゴの仕掛けに、なんと巨大なカジキが食いつく。そこから三日にもわたるサンチャゴとカジキの壮絶な戦いが始まった！！

さて、老人はカジキを釣り上げることが出来るのか？漁の描写は勿論、メキシコの漁師たちの陸でのようすもいきいきと伝わってきます。さすがしく力強い物語をぜひ、読んでみて下さいね。



933/へミ